

作成：岩崎純一

寄「聞香」共感覚歌合（ぶんこうによせるきょうかんかくうたあわせ）

平成二十三年（2011）三月五日に催された。

■歌題

「聞香」の心。すなはち、かをりをききて詠むべし。

■作者

袴ちの子

岩崎純一（[作者サイト](#)）

■歌

袴ちの子

人知れずつらぬきとめぬ夕露にたまりし袖の残り香を聞く

（人知れず泣いている私の涙の袖に溜まった、別れた人の残り香を聞いています。）

岩崎純一

よそに聞く梅の移り香幾夜経てのちやまことの我が袖の花

（今は誰か私とは別の女の袖に聞こえている、あなたの着物の梅の花の移り香は、幾夜経てば現実に私の袖のものになるでしょうか。）